

	号外	定価 1部2円	現業評は7月の知事あて要求書提出に向け要望事項集約実施中！現場の「声」を要求へつなげよう！！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁12階 岩手県職員労働組合	

4.25現業評議会 人事課着任挨拶・交渉

現業職の人員確保・賃金改善を

職場実態を踏まえた人員配置を要求

＝農林水産企画室・県土整備企画室・管財課にも着任挨拶・交渉＝

県職労現業評議会（議長・菅原薫、畜産研究所分会）は、2025年度新体制が構築されたことに伴い、4月25日に人事課及び各主管室課と着任の挨拶及び交渉を行いました。現業職員の実態を見てほしいと訴えたほか、労使に関する基本姿勢の確認、適切な人員の配置や退職者補充に対する要求を行いました。また、要求内容を整理し、7月中旬を目途に要求書を提出することについて申し入れを行いました。交渉結果等については次のとおりです。



菅原議長(右)と名刺交換をする人事課島山参事兼総括課長(左)

人事課

(1) 労使の基本姿勢について、これまでも職員の給与、勤務時間その他の勤務条件の変更や決定に際し、十分に協議を行い、可能な限り理解と協力を得ながら行ってきた。今後も同様の姿勢で臨んで参りたい。また、現業職員の配置や処遇改善については、引き続き、皆さまからの御意見も踏まえつつ、各主管部とも意思疎通を図り、現場の状況を把握しながら、適切に対応していく。



着任挨拶・交渉を行う現業評交渉団

(2) 試験研究機関等の技能員については、退職者の補充に関し主管部である農林水産部と協議しながら継続的に新規採用を行ってきており、今年度は畜産研究所の技能員を2名採用した。人員配置に関する皆さまからの要望についてはしっかり受け止めたい。今後も、職場の状況や業務の実態等について農林水産部の話をよく聞きながら、適切に対応していきたい。

裏面に続く

上記のほか、現業職場（振興局土木部運転技士）における職場実態を踏まえた人員配置及び技術や知識を伝えていくための継続的な採用による補充を要請し、人事課との着任挨拶及び交渉を終了しました。



農林水産企画室尾形管理課長(左)と
名刺交換をする菅原議長(右)

農林水産企画室

2024年度は豚熱、鳥インフルといった家畜伝染病対応のほか、大雨、山火事、庁舎の停電といった不測の事態にも対応いただき、厚く御礼申し上げます。県民のくらしの安全のためにも、人員配置や職場環境の改善については関係機関とも連携して対応していく。

物価高騰等により農機具等の修理や更新が順調に進まないケースも発生する等、依然として厳しい状況も見受けられるため、優先度を踏まえ予算確保や執行に努めていく。

県土整備企画室

日頃より維持管理や災害対応に尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

地元を熟知している運転技士がいるのはとても心強いと感じているし、技術継承は大事だと考えているので、財政の面で厳しいところはあるが、人員確保や組織体制については関係機関との協議を重ね、適切に対応していく。また、人員確保については正規職員の採用を基本とし、運転技士の育成面のフォローにも努めていく。



県土整備企画室佐々木管理課長(左)と
名刺交換をする菅原議長(右)

管財課

職員の採用・確保が大きな課題となっているが、引き続き人員の確保に努めていく。公用車修繕のための予算確保については、要求方法を見直す必要があると考えている。必要な修繕が行えるように努めていく。

公用車更新については、物価高騰等により入札しても落札にならない、納期が年度内にならず、繰越となる等の問題も生じているが、適切な予算確保に努めていく。



管財課岩間総括課長(左)と
名刺交換をする菅原議長(右)